

第3回 5月2日(木)13:00～14:30

**手話を始めなければ知らなかったこと
～大学時代の偶然が、いまの仕事に～**



渡邊早苗氏

社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会
東京手話通訳等派遣センター 管理部門長

会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

中学時代に参加したキャンプで手話の歌を覚えてもらったのが手話との初めての出会い。1991年大学1年生のときに東久留米市手話講習会で手話を学び始める。大学卒業後も会社員をしながら、手話サークルの活動や「登録手話通訳者」としての活動を続けていたが、2011年東京手話通訳等派遣センターに転職。社会福祉法人の事業所の職員として、病院・学校・企業・警察・裁判所・記者会見・テレビニュース等の通訳を担いながら、手話通訳派遣コーディネーター事務等を担当。

<手話に関わる活動等>

手話通訳士(厚生労働大臣認定資格) 練馬区登録手話通訳者
東京手話通訳等派遣センター 登録手話通訳者 全国手話通訳問題研究会東京支部 運営委員

<担当スタッフより>

みなさんの中に、聴覚障害の方と関わったことがある方はいますか。また手話通訳士という仕事を聞いたことがある人は、どのくらいいるでしょうか。渡邊さんが手話を通してどのような気づきを得て自分の人生に活かしていったのかを知ることで、自分にとって人生をより豊かにするものは何なのかを考えていただけたらと思います。また、聴覚障害の方が普段どのように生活しているのかや手話通訳士の仕事がどのようなものなのかを学ぶことで、これまでとは違ったコミュニケーションのあり方について考えてみましょう!

共催:全学インクルーシブ委員会